

# オンデマンド品種情報提供事業 説明資料

## データベース整備型

農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課

# オンデマンド品種情報提供事業とは

## 品種をめぐる課題

品種に対する実需者ニーズの多様化

例えば、業務・加工用米の消費量のシェアは1/3以上！

しかしながら、品種開発はロングターム

水稻であれば、10年程度のタームが必要な場合も。

ニーズに対してスピーディーに対応すること困難な場合も

一方、試験研究機関には多様な品種のリソースが現存

しかしながら、実需者に対してインフォメーションサービスの機会が少なく、品種の存在が埋没してしまう場合も

# オンデマンド品種情報提供事業とは

我が国の農作物への多様化・高度化するニーズに対応するためには、**実需者等のニーズを的確に把握し**、これに対応した**品種を迅速に提供**することが必要です。

しかしながら、新品種の育成には交配から品種登録まで長期間(例えば、水稻では10年程度)かかることから、**実需者等の品種等に対する多様なニーズに迅速に対応することが困難**な場合があります。

一方、研究独法や都道府県の試験研究機関等には、優れた特性を持つ品種等が多数存在しているものの、実需者等へ情報が行き渡らず、**これらの品種等が十分に活用されていない**場合があります。

本事業はこのような状況を改善するため、**実需者等のニーズや優れた特性を持つ品種等の情報を把握するとともに、所要の加工適性等の評価試験を実施**することによって、**実需者等のニーズに対応した品種等の情報を迅速に提供**する体制の構築を推進します。

## 通常 of 育種

試験機関等で育種目標を設定

交配・選抜

※育種目標に合致しない多くのものは、  
個々の研究機関で系統として保存

多くの系統の中から育種目標に合致したものを**選抜**

地域への系統適応性試験等を実施し、品種化

10年程度

## 本事業の実施内容

試験研究機関等の品種・系統の情報を  
データベースに集約・一元化

マッチングの推進、ホームページによる品種等の情報を  
提供

3年以内

実需者等の要望に応じて、地域への系統適応性や加工適性等の評価試験を実施し、**実需者等のニーズに的確に対応**。

# 事業の実施スキーム

## ○フィジビリティスタディ

(事業実施にかかる事前調査・検討)

<ミスマッチの原因調査等>

- ・試験研究機関のリソース(品種等)の把握
- ・実需者等のニーズ把握(幅広く照会)
- ・種苗増殖体制(種苗会社等との連携を模索)
- ・生産現場等の把握

<各事業実施内容の企画・検討>

## ○データベース等の仕様検討



## ○データベース等の整備

## ○カンファレンス

(連携推進会議の開催)

従来の実需者に加え、新規農業参入企業、異業種等も広範に参集し、有望品種を紹介するとともに、様々なニーズを把握し、整理。

## ○アセスメント

(実需者等からの評価)

実需者等の要望に応じ、地域適応性試験、加工適性試験等の評価試験を実施し、事業化に結びつく評価やニーズを得る。

## ○パイロット的運用

- ・データベースの構築
- ・ホームページの作成

## ○本格運用

データベース等の改良・更新及び維持・管理

○インフォメーション  
実需者等からの  
問い合わせ

マッチング

ビジネス化

情報の集約・一元化

情報提供

これらを総合的に実施することにより、実需者等のニーズに応じた品種等の情報を迅速に提供する体制の構築を目指す。

# 事業のメインストリーム

## 連携推進・評価試験対応型

### ○企画・調整業務

事業実施内容の企画・立案、関係機関及び「データベース整備型」で整備するデータベース等の仕様の決定、関係者との連絡・調整及び事業進行管理等を行います。

### ○実需者等との連携推進

実需者等のニーズに対応しうる可能性を持った有望な品種等の情報を実需者等に提供し、ニーズを的確に把握するための会議を開催します。

### ○地域への適応性試験や加工適性試験の実施

実需者等からの要望に応じて、整備したデータベースの中から、実需者等のニーズに合致する最適な品種等を選択し、所要の加工適性や地域適応性等の試験を行うことで、実需者等からの評価を受けます。

## データベース整備型

今回公募分

### ○データベースの整備（品種等情報の集約・一元管理）

研究独法や都道府県の試験研究機関等が所有する品種等の情報をデータベースに集約・一元化するとともに、その品種等が持つ加工適性、多収性、耐病害虫性等の特性を整理し、実需者等の視点（これらの品種等を用いた具体的な用途の事例や導入が見込まれる地域の情報等）からの検索機能を有したホームページを作成します。

実需者等

実需者等のニーズに応じた品種等の情報を迅速に提供する体制を構築

#### 情報提供

【ホームページの整備】

- 検索機能
- 問い合わせ

#### マッチングの推進

【実需者等との連携推進】

- 有望品種を情報提供
- 実需者等のニーズの把握

#### 事業化の後押し

【要望に応じて評価試験を実施】

- 加工適性試験
- 地域適応試験

#### 情報の集約・一元化

【データベースの整備】

<活用されていない品種等を活用>

- 当時は注目されなかった機能性を有する品種
- 良食味であるが、栽培が困難な中間母本
- 高収量であるが食味の劣る品種

等

## 対象品種

- ① 「新品種・新技術の開発・保護・普及の方針に基づき導入が期待される品種等リスト」に記載された品種等（参考URL：<http://www.s.affrc.go.jp/docs/hinsyu/kikaku3.htm>）
- ② 品種登録されたもの又は品種登録出願中のもの
- ③ 品種登録の育成者権が消滅したもの又は品種登録されていないもので、種苗供給が可能なもの

## 対象作物

以下の作物を基本に、実需者等のニーズに応じて適宜追加する予定です。

### ○普通作物

稲、小麦、皮麦、裸麦、二条大麦、大豆、ばれいしょ、かんしょ、そば

### ○工芸作物

なたね、てんさい、さとうきび、茶

### ○園芸作物

いちご、トマト、ピーマン、なす、きゅうり、メロン、すいか、ねぎ、かぼちゃ、はくさい、だいこん、たまねぎ、レタス、かんきつ、りんご、もも、なし、西洋なし、かき、くり、ぶどう、うめ、あんず、ブルベリー、きく、カーネーション、バラ

### ○飼料作物

イタリアライグラス、ペレアルライグラス、アカクローバ、シロクローバ、とうもろこし、ソルガム、えん麦

## アウトプット目標

実需者等のニーズに応じた品種等の情報を迅速に提供する体制の構築を目標とし、26年度から28年度までの3年間の事業実施期間で、本事業により実需者等へ情報提供した品種等のうち、産地導入等に至った品種が15品種以上となるよう取り組むこととします。

オンデマンド品種情報提供事業の実施体制（26年度予算額 64,000千円）

### 連携推進・評価試験対応型

#### 【全国窓口】

窓口業務（実需者等のニーズ把握、問合せ対応、実需者との連携推進に係る会議等の企画・連絡調整等）を担う代表機関を全国で一カ所設置することとします。

#### 【地方窓口】

地域における業務（品種等の情報の収集、実需者等への情報提供、ニーズ把握等）を担う者を各地域ブロック単位ごとに設置することとします。

今回公募分

連携

データベース整備型

# オンデマンド品種情報提供事業の各業務の関係図

今回公募分

## 2 データベース整備型

### <主な業務>

- ① データベースの整備（情報の集約・一元化）
- ② 実需者等のニーズに応じた検索機能等を有したホームページの作成

ニーズを  
フィードバック

ニーズを  
フィードバック

## 1 連携推進・評価試験対応型

実需者等のニーズの情報を提供

### A 【企画・調整業務】

- ① B及びCの実施内容の企画・調整業務
- ② 「データベース整備型」において集約・一元化する品種等の情報を項目毎に整理し、データベース及びホームページの仕様を決定
- ③ 実需者等からの外部問い合わせ対応
- ④ 年間スケジュールの企画、スケジュールの進行管理、事業実績のとりまとめ

事業実施に当たっては、**研究機関が共同実施グループに参画**することが必要。

企画・調整

情報集約

情報集約

企画・調整

### B 【実需者等との連携推進】

#### <主な業務>

- ① 連携推進会議の開催の企画・調整  
\* 関係機関と連携
- ② 開催のロジ  
参集範囲（実需者、種苗会社、研究独法及び都道府県等）
- ③ 実需者等のニーズ把握及び品種等の情報提供  
\* 会議での意見交換やアンケート調査等を実施  
\* 研究独法や都道府県の試験研究機関等が所有する品種等の情報収集については、農林水産省から協力依頼

必要に応じ、あわせて開催

### C 【地域適応性試験、加工適性試験等の評価試験の実施】

#### <主な業務>

- ① 評価試験の企画・調整  
\* 研究機関（実需者等への売り込み等）
  - ② 評価試験に当たってのロジ  
参集範囲（実需者、種苗会社、生産者、研究独法、都道府県（研究機関）等）
  - ③ 実需者等のニーズ把握  
会議での意見交換やアンケート調査等を実施
- <研究機関が実施するもの>
- ① 地域適応性試験（品種特性評価、ほ場栽培管理等）
  - ② 加工適性試験（品種特性評価、工場での加工試験等）

# データベース整備型の具体的な業務内容

データベース整備型

今回公募分

研究独法や都道府県の試験研究機関等が所有する品種等の情報で提供されるものについて、データベースに整理・一元化するとともに、その品種等が持つ加工適性、多収性、耐病害虫性等の特性を整理し、実需者等の視点（これらの品種等を用いた具体的な用途の事例や導入が見込まれる地域の情報等）からの検索機能を有したホームページを作成します。

## ① データベースの整備

研究独法及び都道府県等から提供された品種等の情報を集約し、一元管理するためにデータベースを整備します。

データベースの仕様、整理項目等については、連携推進・評価試験対応型において決定します。

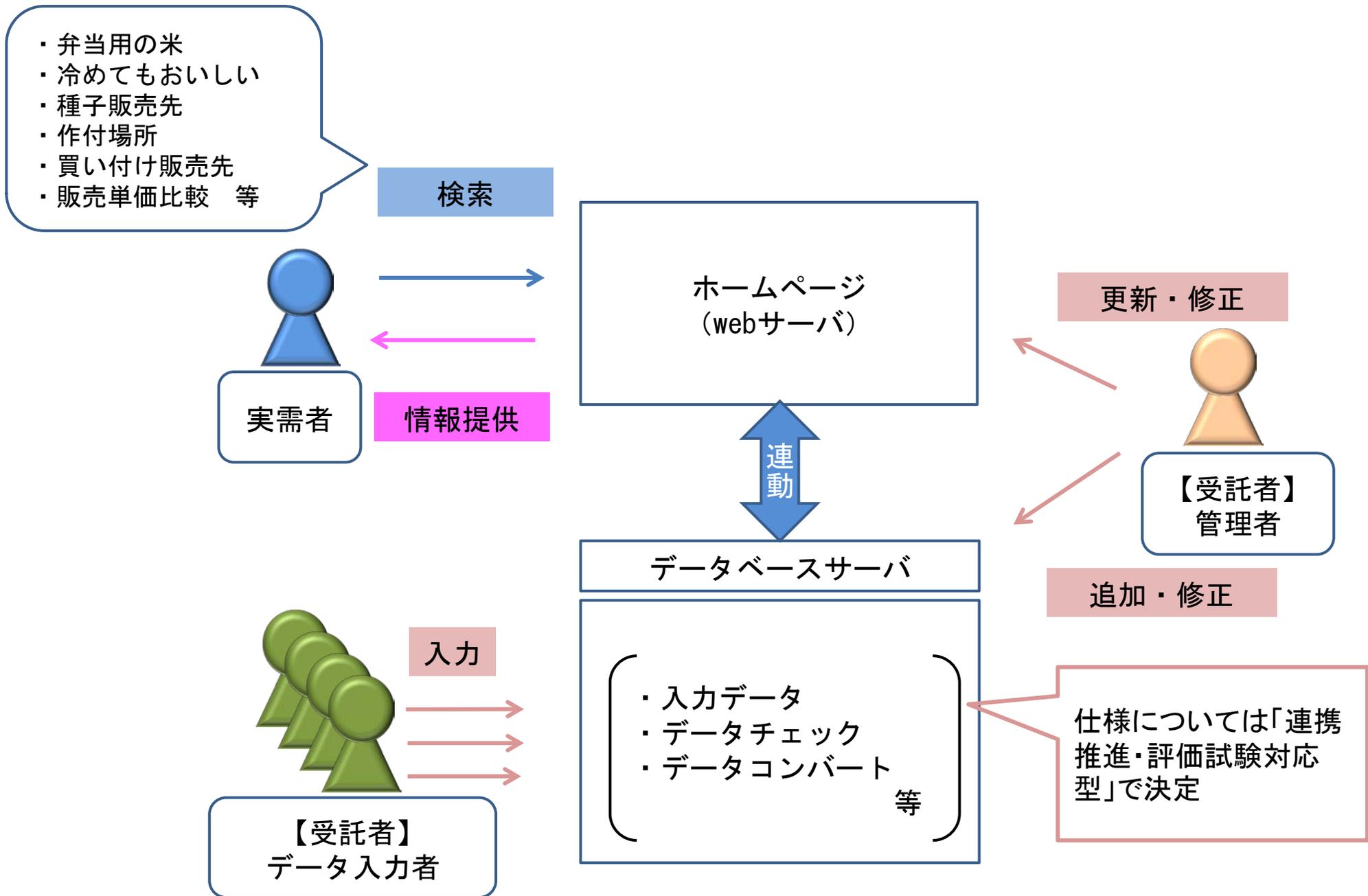
## ② ホームページの作成

実需者等からのニーズに応じた検索機能含むホームページの作成やホームページのデザインの企画等を行うこととします。

## ③ データベース、ホームページの情報更新等

事業実施期間内において、研究独法及び都道府県等の所有する品種等の情報の更新やより機能的なホームページの改良等を行います。

# データベース整備型のデータベース及びホームページの実施イメージ



# 3年間のスケジュール

## 連携推進・評価試験対応型

1年目（26年度）

2年目（27年度）

3年目（28年度）

### ①企画・調整業務

- ・②及び③の業務に係る企画・調整
- ・データベース及びホームページの仕様検討

### ②実需者等との連携推進

- ・実需者等のニーズの把握
- ・データベースで整理された品種等の情報を実需者等に提供

### ③地域適応性試験、加工適性試験等の評価試験の実施

- ・実需者等に品種情報を紹介
- ・加工適性や地域への適応性等の評価試験を実施

## データベース整備型

1年目（26年度）

2年目（27年度）

3年目（28年度）

### データベースの整備

- ・データの集約及び一元化
- ・データベースの構築

- ・検索機能を有したホームページの作成
- ・実需者等による試験的運用

ホームページの運用開始  
（改良含む）

## 応募、照会等窓口

〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課 (本館6階ドアNo.671)

担当者：調整班 福田

TEL：03-3502-7462

FAX：03-3593-2209

e-mail：[mitsuru\\_fukuda@nm.maff.go.jp](mailto:mitsuru_fukuda@nm.maff.go.jp)